

會津 TAP これまでの歩み

- 平成28年3月27日(日) タップダンス北会津公演『THE TAP SHOW』(参加者13名、来場者110名)
- 平成29年3月5日(日) 住民参加型タップダンス公演 第1弾『LIFE GOES ON』(参加者22名、来場者数269名)
- 平成30年1月28日(日) 第2弾『TAP ON JAZZ』(参加者29名、来場者数331名)
- 平成31年3月3日(日) 第3弾『AIZU NEW ERA』(参加者29名、来場者数250名)
- 令和2年3月8日(日) 第4弾『TAP～rhythm of life～』(参加者32名、来場者数0名)
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため無観客配信公演として実施
- 令和3年3月7日(日) 第5弾『TAP～The Next Step～』(参加者28名、来場者数0名)
※福島県の「外出自粛要請」を受けて公演中止
- 令和4年3月6日(日) タップダンス公演『劇場を揺らせ 會津編』(来場者数108名)
- 令和5年1月22日(日) 第6弾『TAP～step forward～』開催!(参加者10名、来場者数116名)
3月1日(水) 本公演の参加者募集開始
5月14日(日) 公演に向けて稽古開始(稽古回数20回 延べ87時間 +α(各自自主練))
- 令和6年3月10日(日) 第7弾『TAP～Be the light～』開催(参加者9名)

住民参加型タップダンス公演の目標

①活動を通して豊かな地域づくりに貢献すること

約1年間活動を共にする中で、他の参加者に共感する心が生まれ、参加者同士が結びつき、コミュニティを形成するとともに、相互が理解し尊重しあう土壌を作ります。これを通して共生を尊ぶ社会づくりに貢献します。

②タップダンスを通してシティセールスに貢献すること

全国的に珍しい住民参加型タップダンス公演ということもあり、県外からも出演者・来場者が集まるなど、注目が高まっています。質の高い公演を実施する事で、全国から来場者を集め、観光都市会津若松を盛り上げます。

③地域にタップダンスが根ざし、活動が県内外に波及すること

継続して事業を実施する中で、参加者だけでもタップダンスが続けられるようノウハウを伝えています。白河・須賀川など県内各地でも小規模ながら同様の公演が実施されるようになってきているので、福島県内「浜・中・会津」で連携した事業展開や、県外での公演も視野に入れています。



〒965-0807 会津若松市城東町 12-1
公益財団法人会津若松文化振興財団
TEL.0242-27-0900 (8:30～17:00) ※月曜休館

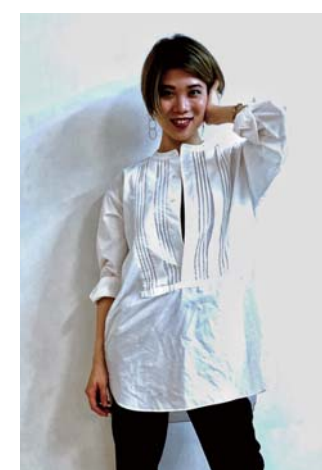
TAP Be the light

住民参加型タップダンス公演 第7弾

■演出・構成：中山貴踏



安達 雄基
(TAP)



千葉 優里子
(TAP)



坂東 邦明
(ドラム・パーカッション)



佐藤 菜緒
(ピアノ)

令和6年

3月10日 [日] 開場 13:30 開演 14:00 **会津若松市文化センター**

主催：公益財団法人会津若松文化振興財団 共催：会津若松市教育委員会 後援：福島民報社、福島民友新聞社

ごあいさつ

本日は公益財団法人会津若松文化振興財団主催、住民参加型タップダンス公演“*Be the light*”へお越しいただきありがとうございます。平成28年度からスタートし、早くも第7弾を迎えました。コロナ禍には2回も公演が中止になったりと、公募で集まった参加者の皆さんも舞台を創っていくにあたり様々な事を体験してきました。今年ゲストダンサー安達雄基による振り付け、加えて共演もあり、これまでとは異なった内容も見どころの1つになっています。ご来場のお客様にはTAPというカルチャー、そしてこの公演を通し、それぞれの感性で何か感じとっていただけるものがあれば幸いです。

最後に。

これまでタップを共にしてきた仲間たち、そしてこれから新たにタップを共にする仲間たち。

放つリズムが1つを創っていきけるようTAPのもと集い宴を開いていきましょう。

中山貴踏



プロフィール



安達雄基 (タップ)

7歳からTAPDANCEをはじめ、その後様々なジャンルのDANCEを学び、19歳で単身NEW YORKへ渡米。留学中、NYや台湾のTAP FESTIVALに講師/performerとして参加する。帰国後はKAZ TAPCOMPANYのメンバーとして活動を始め、全国各地で舞台出演やワークショップなどをおこなう。個人としてはTAP BATTLE JAPAN OPENを3連続優勝し日本一の座に輝くなど様々なコンテストやバトルで優秀な成績をおさめる。

近年ではGENERATIONS、Da-iCE、s**t kingz等様々なアーティストの振付や演出をするなど、プレイヤーとしてだけではなく様々な形でタップダンスの魅力を伝える活動をしている。



千葉優里子 (タップ)

4歳からジャズダンスを始める。その後数年間ジュニアレビューの舞台を経て、芝居歌バレエを学び、10歳の時シアタースタイルのタップダンスに出会う。2014年からkaztapstudioにてリズムタップを学び始め、2019年より同スタジオの講師となる。2022年より女性タップダンサーチーム"ON the WOOD"のメンバーとしても活動中。2015年uniqlo短パンcm出演。2016年jammin floor@clubEX出演。2017年 journey in the rhythm by Kaznori Kumagai出演。2018年 solo live 「TRIAL」 by kaztapstudio。2018年 tap into the right by Kaznori Kumagai出演。2019年 東京 international tap festival出演。2021年~2022年舞台「羽世保スウィングボーイズ」振付助手/出演。2023年3月~On the Wood 自主公演「つむぐ vol.1~3」。2023年川崎タップフェスティバル。



坂東邦明 (ドラム・パーカッション)

イメージからGrooveへ変える、日本のDrummer&Percussionist。Live、Recording、PV、数々の舞台公演、Band、Support、Sessionに参加。Drum&PercussionのLessonも行っている。自作曲の制作やSolo single、Album「Snow mountain」「Life」「2021」Release。Solo live「Heart Groove communication」を行う。2009~2010、南米ブラジルへ渡り、太鼓紀行を重ね、カーニバルへ出場。Drum-off 2021 日本代表。Hong Kong international drummer festivalに参加し優秀賞を受賞。



佐藤菜緒 (ピアノ)

宮崎県出身。
幼少期よりクラシックピアノ、エレクトーンを学ぶ。
上京後キーボードや作曲を始め自身のバンドやアーティストのサポートメンバーとして活動。
現在は音楽制作などゆるく活動中。



中山貴踏 (構成・演出・稽古指導)

福島県出身。15歳からSTREET DANCEをはじめ、21歳でTAPに出会う。2006年 熊谷和徳氏 青山円形劇場5DAYS公演“TAPPERS RIOT”をきっかけにKAZ TAPCOMPANY“TAPPERS RIOT”として活動する。
2013年に地元福島へ拠点を移し、舞台制作やコーディネート他、県内外での劇場公演、ART FES、野外音楽FESへの出演、文化芸術による子供育成総合事業アウトリーチなど幅広く活動。

■舞台監督・照明：遠藤哲 ■舞台：佐久間美紀 ■照明：本間美幸 ■音響：Sound work SR、鴻巣泰一、武藤憲、櫻井裕美

プログラム

1. ウォークアラウンド (*On The Sunny Side Of The Street*)

振付：安達雄基 TAP：TAP blanc Aizu 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

2. *You've Got a Friend in Me* (君はともだち)

振付・TAP：TAP blanc Aizu 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

3. 東京ブギウギ

振付：安達雄基 TAP：TAP blanc Aizu、安達雄基、千葉優里子 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

4. タップオーケストラ

TAP：安達雄基、千葉優里子、TAP blanc Aizu

5. *Where's the Sun in Berlin*

TAP：千葉優里子

6. *Hug*

TAP：安達雄基

7. *a cappella*

TAP：安達雄基、千葉優里子、Lina、齋藤智広、安里太志

8. *P.Y.T*

TAP：安達雄基、千葉優里子、Lina、齋藤智広、安里太志

9. *Twice*

演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

10. *Spartacus Love Theme*

TAP：千葉優里子 演奏：佐藤菜緒

11. *Red Clay*

TAP：安達雄基 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

12. *Heart Groove*

演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

13. *Laura*

TAP：安達雄基、千葉優里子、Lina、齋藤智広、安里太志 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

14. *A:UN*

TAP：中山貴踏 演奏：坂東邦明、佐藤菜緒

15. *Fukushima* マーチ

振付・指導：中山貴踏 TAP：中山貴踏、TAP blanc Aizu

16. エンディング

出演：出演者全員

※都合により内容を一部変更する場合がございます。予めご了承ください。



タップ ブラン アイズ
TAP blanc Aizu (タップ)

住民参加型タップダンス公演 第1弾『LIFE GOES ON』開催にあたり公募によって集まった一般参加者によって命名されたグループ名。「blanc (ブラン)」はフランス語で「しろ (白)」を表す言葉。会津のイメージ (鶴ヶ城のしろ、白虎隊のしろ、雪国のしろ) と「白」が持つイメージ (始まり、広がり、可能性) から、会津でタップの活動が未永く続き、会津にタップ文化が根付く事を祈って命名。以降、会津で行われる住民参加型タップダンス公演の際に、公募によって集まった一般参加者のグループ名として使用している。

しん	参加地域 会津若松市	ふみ	参加地域 郡山市
<p>本日はご来場頂き誠にありがとうございます。 私が以前、タップダンス公演に参加した際は コロナウイルスの影響により、無観客公演でした。 非常に悔しかったことを今でも覚えています。 ですが、今日は皆さんが来てくださっています。 誠心誠意タップを踏ませて頂きます。 最後まで思いっきりお楽しみ下さい。</p>		<p>身体を動かすことが大好きで、今回初めてTAPブランの 仲間に加えてもらいました。毎回の稽古が本当に楽しかった です。そんなある時、子どもの頃ダンサーに憧れていたこと を身体が思い出していました。 こんな贅沢な時間を今過ごせていることに心から感謝です! この幸せと喜びをお伝えてきたら最高です!!</p>	
みちよ	参加地域 西会津町	ニリー	参加地域 郡山市
<p>本日はご来場誠にありがとうございます。今回、7年間の 蓄積を振付という形でアウトプットしました。自己満足です が、ブランへのオマージュになればと創作しました。 3人のお仲間さんが一緒に踏んでくださいます。 温かく見守ってください! そしてプロの方々の洗練された TAPは三者三様で魅了されますよ☆ 楽しんでいってくださいね。</p>		<p>ボク・タップ・フム・ミロ オドレ・ワラエ・サワゲ さあ、一緒に Be the light!</p>	



ゆたじー

参加地域 只見町と伊達市

62才の時に、「できるかな?」とおっかなびっくり始めて、6年経ちました。若い人のように上達できず、足を引っ張っているなあと思いつつも、嫌な顔をする人がいないので、「今日はここまでできた。」「昨日よりうまくやれた。」と続けています。いかにも年寄りの動きだと思いますが、仲間と楽しんで踏みます。どうぞご覧ください。

みなこ

参加地域 会津若松市

TAP is LIGHT
TAP is PLEASURE
TAP is HAPPINESS
TAP is HOPE
TAP is LIFE
TAP is TAP
TAP is OOO
あなたにとってのTAPは?

Tomo

参加地域 郡山市

ず〜っと憧れ続けているタップダンサー達があります。ロン・チェイニー、ジミー・スライド、バスター・ブラウン、グレゴリー・ハインズ…等。今日、僕はそんな彼等に憧れるのをやめます。憧れるだけでは、今日のTap踏めないですからね。まずは、TAP blanc Aizuの楽しさを伝えます。

まっちゃん

参加地域 会津若松市

本日は、ご来場いただき、ありがとうございます。
沢山の…たくさんさんの想いをこめて、私達のTAPを届けたいと思います。
楽しんでいただけたら、嬉しいです。

Be the light !

えっちゃん

参加地域 会津若松市

タップシューズを初めて履いてから10カ月。
1メートル四方の練習板の上で何度も練習して、ステップをマスターする楽しさ!
仲間と息を合わせタップを踏む楽しさ!

タップダンス最高!!

ご来場いただき誠にありがとうございます。
精一杯踏ませていただきます。

Facebook



TAP blanc Aizuの近況は
Facebook、Instagramで
←← 公開中です →→

Instagram

